

対流式ストーブ 取扱説明書



Just Time

■注意事項

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

⚠	このマークは、「注意」していただく内容です。
🚫	このマークは、してはいいけない「禁止」を表しています。
📌	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠ 危険 (DANGER)

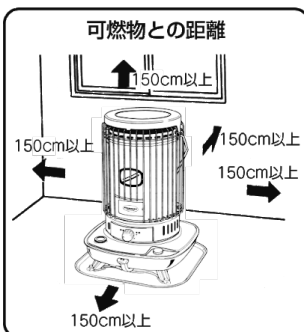
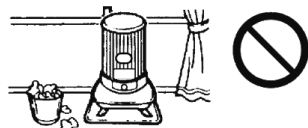
ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



可燃物近接厳禁

カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。火災の原因になります。可燃物とは図に示す距離を確保してください。



燃焼筒は正しくセットする

点火する前に燃焼筒のすわりを確認してください。すわりが悪いと火災の原因になります。

点火用ライターやマッチで点火した場合は、燃焼筒のつまみを持って、左右に2～3回動かして、しん案内筒に正しくセットされているか確認するとともに、点火用ライターやマッチをストーブ付近や置台の上に置かないでください。火災のおそれがあります。



寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。

また、人目の届かないところでは、使用しないでください。不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。消火の際は、必ずしん調節つまみが消火位置にもどり、火が消えたことを確かめてください。



給油時消火

給油は、必ず消火してから、ストーブの温度が十分下がっていることを確認して、火の気のないところでおこなってください。火災の原因になります。

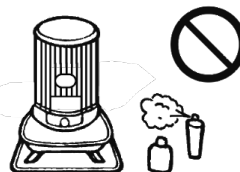
こぼれた灯油は、よくふきとってください。給油口ふたは確実に締めてください。



⚠ 警告 (WARNING)

可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーを使用しないでください。火災や故障の原因になります。



換気必要

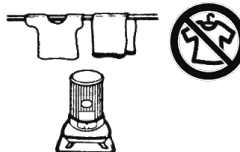
換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。

使用中は必ず1時間に1～2回（1～2分）換気して、新鮮な空気を補給してください。換気するときには、換気扇を使用したり、窓や戸など2カ所以上開けると効率よく換気ができます。窓の凍結、地下室など換気が十分におこなえない場所では、使用しないでください。



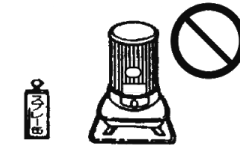
衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



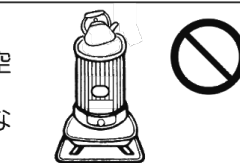
スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどをストーブの上や周囲に放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



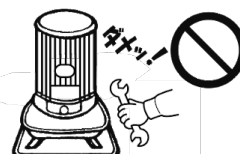
空だき厳禁

なべ、やかん、フライパンなどは空だきしないでください。空だきすると火災や故障の原因になります。

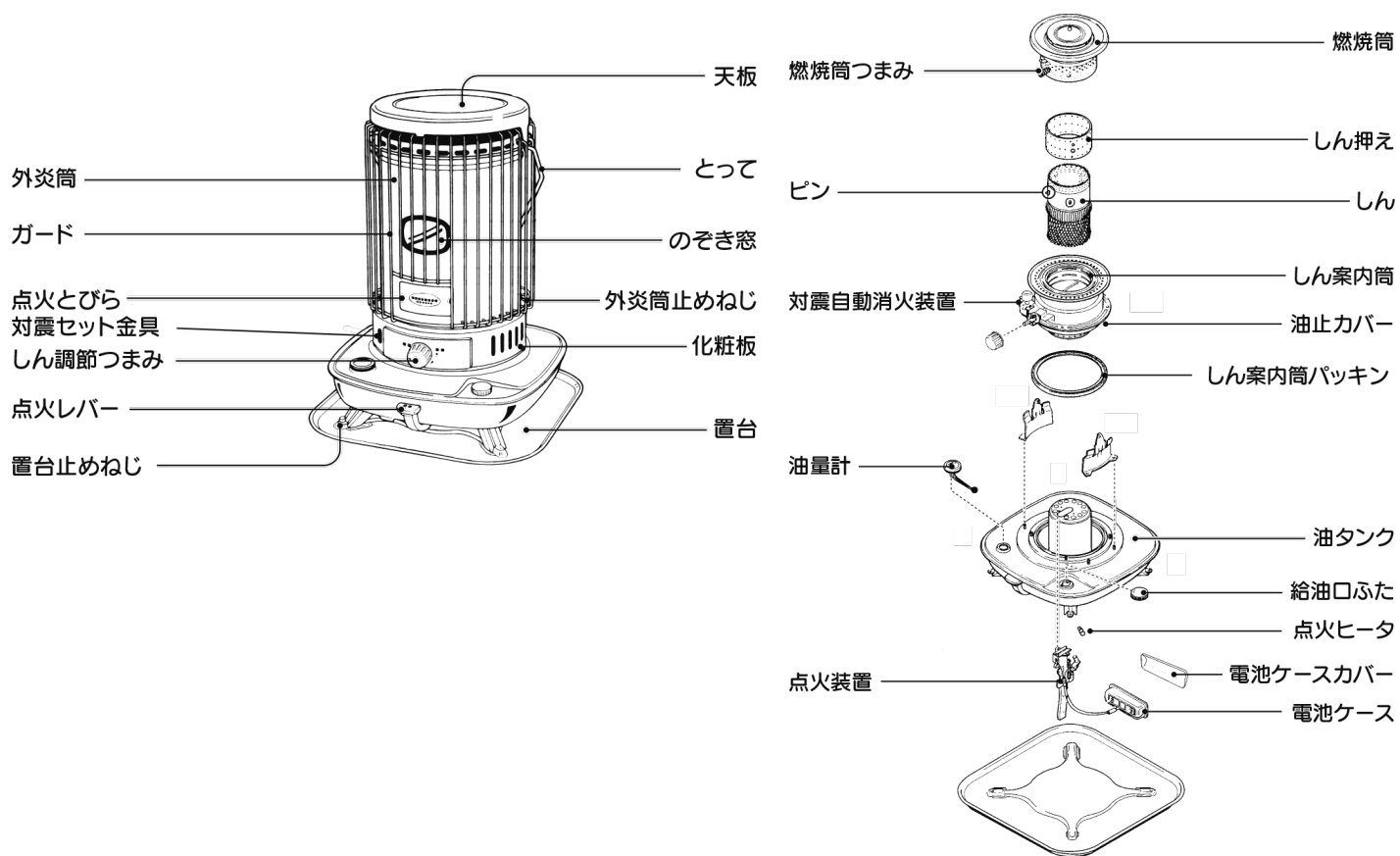


改造使用の禁止

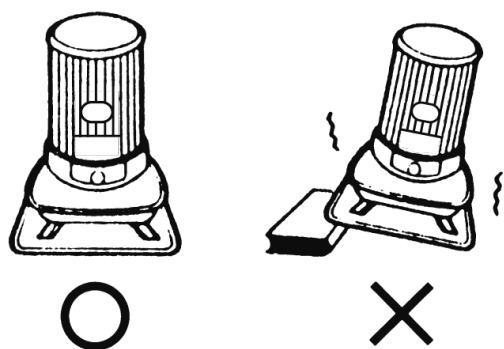
改造して使用しないでください。安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



■各部名称

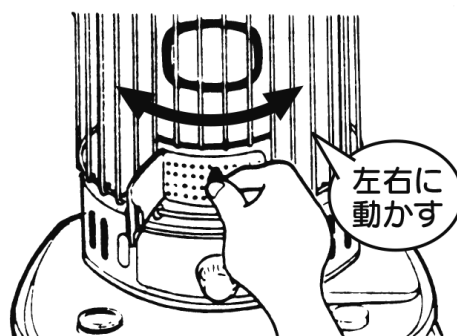


■点火前の準備と確認



ストーブは、水平で安定の良い床の上に設置してください。

傾斜した場所や振動の激しい場所で使用すると、異常燃焼や対震自動消火装置の誤作動の原因になります。

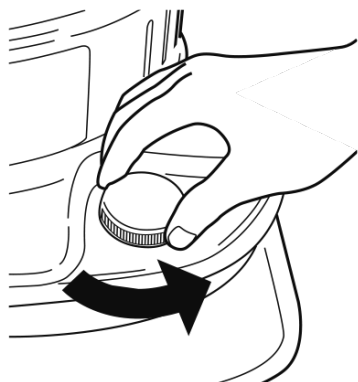


点火扉を開いて、燃燒筒つまみを持って左右に2～3回動かして、しん案内筒に正しくセットされているか確認して下さい。

正しくセットされていないと、すすが出て異常燃焼の原因になります。

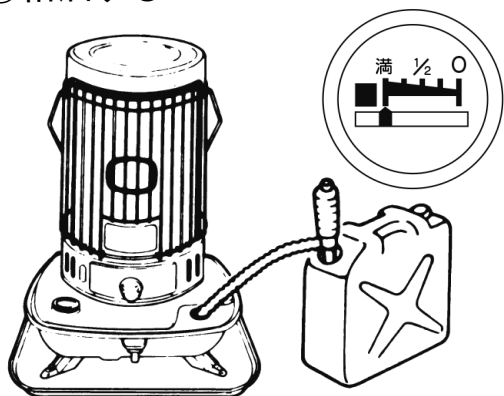
■使用前の準備

①給油口蓋をを取り外す



給油口の蓋を取ります。

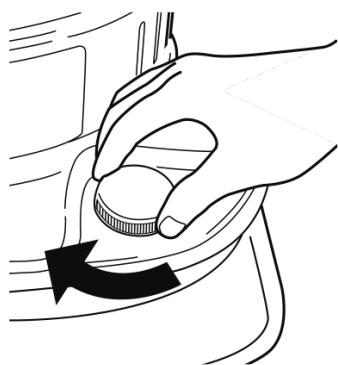
②給油する



給油ポンプで油量表を見ながら給油してください。

油量表が『満』をさしたら、給油をやめて下さい。

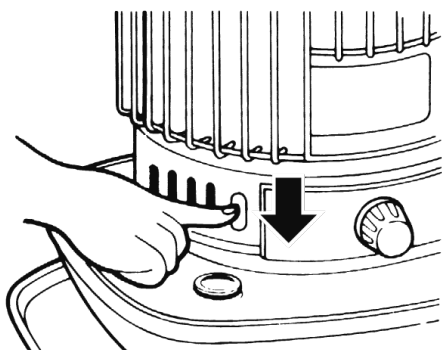
③給油口蓋を閉める



給油口のふたを締めて下さい。

万が一灯油がこぼれた場合は、よく拭き取ってください。

④対震自動消火装置のセット



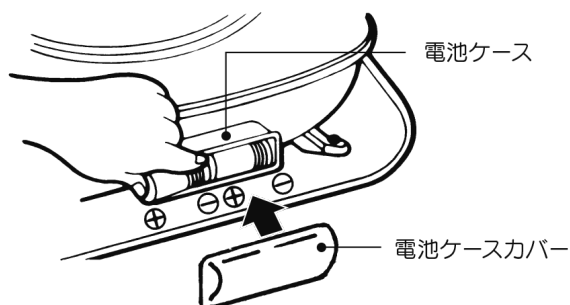
化粧板内の金具を下に押し下げて対震自動消火装置をセットして下さい。

セットしないと使用できません。

■使用方法

・電池点火のしかた

①乾電池をセットする



・乾電池 (単一形2個)をセットする

・電池ケースカバーが外れにくい場合は電池ケースカバーの中央部を押しながら、下側を手前に引くと外れやすくなります。

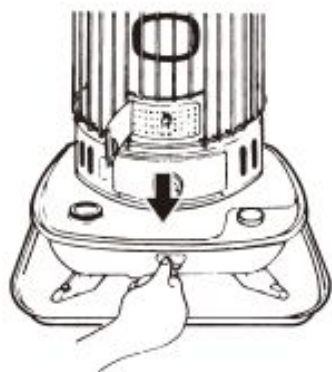
①しん調節つまみを右 (燃焼)に回す



・対震自動消火装置がセットされているのを確認して下さい。セットしないとつまみを回しても戻ってしまいます。

・しん調節つまみを右へ回しきって、しんをいっぱいに上げて下さい。

②点火レバーを押し下げる



・点火扉を開き、点火レバーをゆっくり押し下げて下さい。燃焼筒が傾き点火します。点火を確認したらゆっくり指を離してください。

※点火後も点火操作をそのまま続けていると、点火ヒータが破損しますのでおやめ下さい。

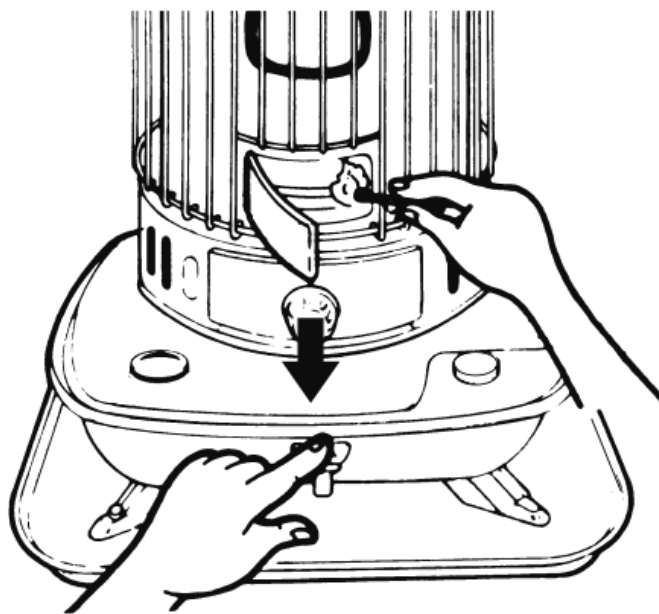
③燃焼筒のセットを確認する



燃焼筒のつまみを持って、左右に2～3回動かして、しん案内筒に正しくセットされているかを確認してから点火扉を閉めて下さい。

・ライターやマッチでの点火方法 (点火ヒータが使えないとき)

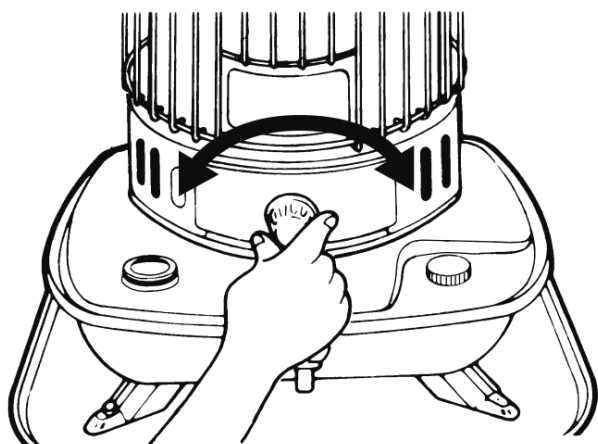
1. 対震セット金具が押し下げられて、セットしてあることを確認し、しん調節つまみを右(燃烧)方向に回しきって、しんをいっぱい上げて下さい。
2. 点火扉を開き、点火レバーを押し下げて燃烧筒を傾け、ライターやマッチで点火したら点火レバーからゆっくり指を離してください。
3. 燃烧筒のつまみを持って、左右に2～3回動かして、しん案内筒に正しくセットされているかを確認してから点火扉を閉めて下さい。
点火操作後は必ず燃烧筒のセット具合を確認して下さい。



注 意

- 燃烧筒のつまみを指で直接持ち上げると燃烧筒ずれをおこしやすくなります。点火用ライターやマッチでの点火は、点火レバーを押し下げておこなって下さい。
- マッチ点火の際は、マッチの燃えカスをしん付近や置台の上に置いたり、器具内に落とさないで下さい。
火災や事故の原因になります。

■炎の調節



炎の調節はしん調節つまみでおこないます。

- しん調節つまみを右（燃焼）方向にまわすと炎が小さくなります。
- 点火後、次第に火力が強くなって、15分くらいたつと火力が安定します。
炎が勢いよく環状になり、明るい白光炎で燃えるのが最良火力です。

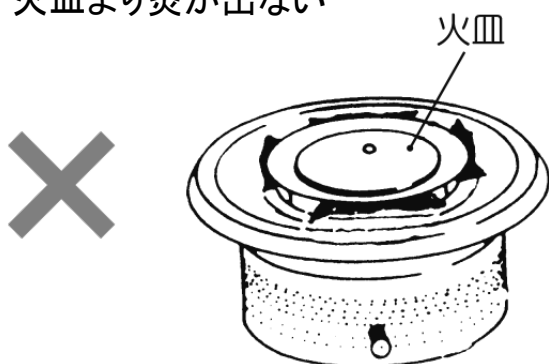
注 意

燃焼中は時々炎を見て、正常に燃焼していることを確認して下さい。

炎の状態

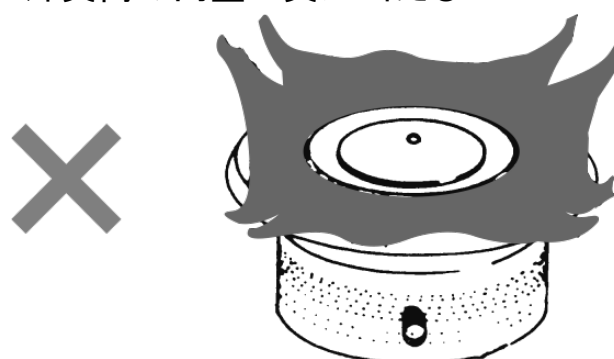
しんの下げ過ぎ

火皿より炎が出ない



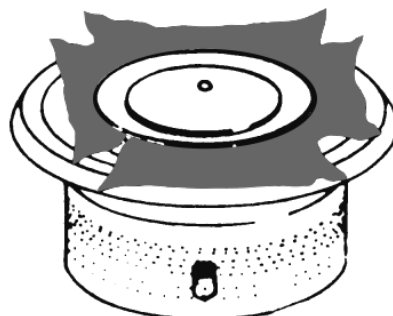
しんの上げ過ぎ

外炎筒の内壁に炎が当たる



正しい炎の状態

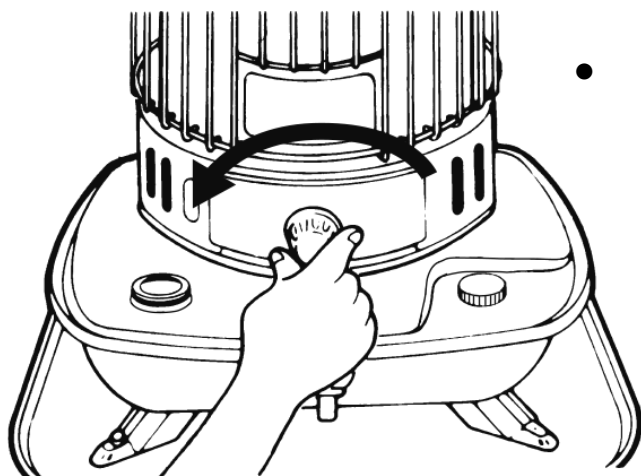
火の長さが1～3cm



炎の状態を見ながら **正しい炎の状態** に調節し、しんの下げ過ぎ や しんの上げ過ぎ の状態にならないようにして下さい。

■消火のしかた

1. しん調節つまみを左(消火)方向へ回す



- しん調節つまみを左(消火)方向にゆっくり止まるまで回して、しんを下げて消火して下さい。(3～5分で消火します)

※対震セット金具を押し上げたり、ストーブを揺さぶったり、傾けたりして消火しないで下さい。

※しん調節つまみは約1回転しか回りませんので、それ以上無理に回さないで下さい。

2. 消火の確認をする

- 必ず消火の確認をして下さい。

■対震自動消火装置が作動した場合は ...

- しん調節つまみをまわして消火したときに比べ、消火時の臭気が強くなります。
- 変質灯油などで、しんの上部にタールなどが多く付着していると、対震自動消火装置が作動してもしんが完全に下がりきらないで消火しないことがありますので、必ずしん調節つまみをまわして消火の確認をして下さい。

消火後再点灯するときは...

消火後すぐに再点火すると燃焼筒の温度が高くて、点火しなかったり、匂いがします。また、点火ヒータのフィラメントが断線する場合があります。燃焼筒が冷えるまで、6～7分くらい待ってから点火してください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

●次の表に基づいて、お確かめ下さい。

原因 \ 現象	点火しない	ポコポコと火がおどる	炎がかたよる	においがする	赤火やススが出る	炎が大きくならない	しん上下操作が重い	しんが下がらない	しんがすぐ下がってしまう	消火しない	火のまわりが遅い	処置方法
水、変質灯油や不純灯油などの不良灯油が混入している	●		●	●	●	●	●	●		●	●	油タンク内の水、油を抜き、きれいな灯油で洗い、しんも交換する
しんに十分灯油がしみこまないうちに点火した	●			●		●					●	給油後はしんを下げ、20分以上待ち、しんに十分灯油がしみこんでから点火する
しんの上げすぎ				●	●							正しい炎の状態になるようにしんを調節する
しんの下げすぎ				●		●						
燃焼筒のセットが悪い		●	●	●	●							燃焼筒つまみを左右に動かしてセットしなおす
長時間閉め切った部屋で使用している		●		●		●						窓をあけ、部屋の換気をする
しんにタールが付着している	●		●	●		●	●	●		●	●	「しんの手入れ」をする
しんの取り付けがしん押えにピッタリしていない		●					●	●				正しく取り付けなおす(お買い求めの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。)
点火ヒータのフィラメントの変形または断線	●											変形をなおすか交換する
乾電池が正しく入っていないまたは、消耗している	●											⊕⊖ を正しく入れる 新しい乾電池と交換する
風または、振動を受けている		●	●	●	●	●			●			風の当たらない場所で使用する 振動を受けないようにする
しん上下機構が故障している	●						●	●	●	●		お買い求めの販売店またはお客様ご相談窓口 に依頼してすぐ修理する
対震自動消火装置が故障している								●	●			
しんの上に燃焼筒がのっている		●	●	●	●							しん上下操作を繰り返し、燃焼筒つまみを 左右に動かしてセットしなおす

処置方法により処置しても良くならない時は、ジャストタイムにご連絡ください。

【TEL 088-883-3131】

使用後は出来る限り、灯油を抜き取ってご返却して下さい。



■商品スペック

種 類	しん式・自然対流形
点火方法	電池点火
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量	6. 59KW (0. 64L/h)
タンク容量	7. 0L
継続燃焼時間	約11時間
暖房の目安	木 造 14畳 コンクリート 22畳
外形寸法	高さ598mm 幅460mm 奥行460mm (置台を含む)
質 量	11. 4kg

Just Time

レンタルでもっと楽しく、もっと便利に

TEL 088-883-3131

〒781-8122 高知県高知市高須新町2丁目1-31
営業時間／9時-19時 年中無休（年末年始は除く）